

場所に縛られない働き方

場所に縛られない働き方

- ・生産性の向上
- ・職員のワークライフバランス

モビリティの向上

PCを持ち運び可能にし、会議/打合せや幹部レクに持参して仕事を行う

働き方に合わせた場所の提供

会議・打合せ/集中作業スペースを設置し、省外でのテレワーク・サテライトオフィス勤務を推奨
局内をフリーアドレスに

情報共有

部局ポータルサイトを活用し、幹部日程、各職員の予定、国会情報や各種様式等を共有

電子管理/ペーパーレス化の推進

新規文書は電子管理を原則、既存文書は重複文書を中心に計画的に整理
会議/打合せ向けに大型モニターを導入
希望する職員にデュアルモニターを貸与

什器の整備

PCを保管するロッカーを整備
机をダウンサイジング
個人資料を格納するキャスター付キャビネットを貸与

業務内容に応じたアレンジ

第一弾 (H27.1)
電子政府部門



第二弾 (H28.3)
総括・企画調整部門



第三弾 (H29.4)
法令部門



シーンに合わせたワークプレイス

打合せスペース



集中作業スペース



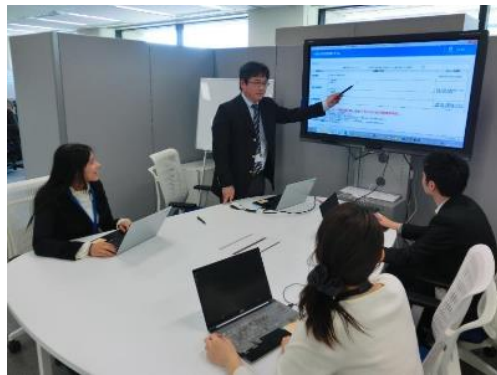
立ちミーティング
スペース



取組の効果（例）

コミュニケーションの活性化

6～7割の職員が「作業開始前に、管理職も含めて対処方針を相談するようになった」「作業の手戻りが減った」と認識。ほとんどの職員が「仕事がしやすくなった」と実感。



会議・打合せスタイルの変化

Before) 予約した会議室で印刷した資料を見ながら検討、会議後に資料を修正

After) 予約不要の会議スペースにPCを持ち寄って検討、終了時に資料をセット

柔軟なチーム編成

通常の執務場所がそれぞれに異なる関係者を一箇所に集約し、指示・報告をスムーズに行うことが可能に。法案審議前日などに効果を発揮。

